



本間 そのこ

福祉20年の実績を

未来のさいたま市へ！

次世代へ続く「さいたま市」を実現します！

福祉で培った経験を活用して
一人ひとりを大切に思う政策を

01 すべての人々をサポートするきめ細かい政策を！

02 介護サービスの拡充を！

さいたま市の未来を見据えた 公平公正な政策を

01 子どもや子育て世代の視点に立った政策を強力に推進

02 進行し続ける少子高齢化に対する政策を！

※少子高齢化が進行し、2030年にはさいたま市の65歳以上の割合は28%と推測されています。

子供や子育て世代の視点に立った 政策を強力に推進

少子化は
危機的な状況。
子育て世代にとって、
よりよい政策を！



社会の重要な課題のひとつである、「子ども・子育て・支援」

昔は何世代もの家族が同居していて、子どもの母親が子どもの面倒をみられなくても、他の家族の誰かが面倒をみたものです。現代は、夫婦と子どもだけという核家族化が進み、どうしても他者（民間サービス）に子どもの面倒を頼むということになり、金銭的な負担にもなっているのではないのでしょうか。

子供1人あたりの養育・教育費は約3,000万円とも言われておりますので、経済的負担を軽減し、安心して子育てができる支援を推進する必要性を感じております。

東京都の小池知事は、「まったなしということで、独自の給付をすることにしました」と、新年度から18歳の以下の都民

（対象：約200万人）に対して1人当たり月5000円＝年間6万円を所得に制限を設けずに現金で支給する考えを示しました。

さらに、第二子の保育料を無償化する考えも示しました。もし、保育園に通う子供が熱を出せば共働きの両親のどちらかが仕事を休み、看病する必要があります。そんなときは、無償化された保育料分でシッターをお願いすることも可能になります。

本間そのこは、少子化問題に自治体自ら取り組み、
子育て世代の住みやすさを追求します。

プロフィール 1963年6月23日 浦和市町谷生まれ。

教員の両親のもとに生まれ、両親が共働きのため越境通学となりました。



本橋 都志雄（平成30年9.16他界）
〔勤務先〕東浦和中学校、他



本橋 聡子
〔勤務先〕三室小学校、他

中学 私立十文字中学校 幼少期よりうらわスイミングスクールに通い、

高校 私立十文字高等学校 中・高は水泳部に所属。

大学 文化女子大学家政学部服装学科 競技スキー部に所属。

- ▶ 相談員（特別養護老人ホーム、通所介護、有料老人ホームなど）を10年経験。社会福祉士・介護支援専門員を取得。独立型居宅介護支援事業所の開設し、ケアマネジャーとして約10年実務に携わる。
- ▶ 埼玉県介護支援専門員協会会員
- ▶ 日本ケアマネジメント学会会員
- ▶ (元) NPO法人つばみの会 代表理事
- ▶ (元) 独立型居宅介護支援事業所 つばみ 管理者

心が通い、支えあうさいたま市を築く会

〒336-0922
さいたま市緑区大牧1218-33

TEL 048-753-9179 FAX 048-753-9163 E-mail info@sonoko-honma.com

本間そのこ公式ウェブサイト

<https://sonoko-honma.com>



給食費の無償化

※文科省の試算（2018年度実績で推計）では、
全国で完全無償化した場合の費用は年間4386億円。

コロナ禍や物価高騰が続く家計の負担が増えていること等により、 小・中学校ともに給食費完全無償化を！

子どもにとって大切な学校給食。小学校・中学校とも給食費を無償化している自治体は、全国で250以上あります。岸田文雄首相は昨年5月の国会で、経済的に厳しい家庭の給食費はすでに免除しているとし「さらなる負担軽減については、各自治体において地域の実情に応じて検討いただく」と答弁し、国による無償化には慎重な姿勢を示しました。

※本間そのこは、保護者負担を少しでも軽減出来るよう、給食費の半額補助・第3子からの無償化・中学校3年生のみ無償化など一部無償化も視野にいれ、また、期間限定で実施する等も含め学校給食費について積極的に提案して参ります。

育児サポート・おむつやミルクの助成など

育児支援の一環として、育児に必要な物を助成！

子育ては長期戦だからこそ、自治体サービスを上手に活用出来るよう育児環境を整え、子育てしやすい自治体を目指します。子育て世帯に優しい制度やサービスを提供している自治体であれば、直接的・間接的にも恩恵を受けることができ、実質の養育・教育費の節約にもつながります。

※本間そのこは、子育てのしやすい環境が整った自治体を目指し、自治体独自の子育てサービスの構築を推進いたします。

各地域の 対応例

栃木県N市

▶ N市すくすく赤ちゃん券支給事業（出産祝い品購入費助成事業）

保護者と子ども（1歳の誕生月の翌月末まで）に対して、子ども1人につき3万円分が助成されます。すくすく赤ちゃん券はおむつ関連用品 紙おむつ、布おむつ、おむつカバー、おむつライナー、おしりふき、授乳関連用品粉ミルク、哺乳瓶、替え乳首、消毒グッズ、搾乳器、母乳冷凍保存パック等。（申請の期間は、対象となる子供が1歳の誕生月の翌月末まで。）

埼玉県K市

▶ 1歳までおむつがほぼ無料！

生まれた月から満1歳の誕生日の前月分まで、計35袋のおむつと引き換えられるクーポン券が配布されています。クーポンは市内の契約店で使用でき、銘柄の5種類から選べます。おむつは赤ちゃんの肌質や体型によって合うものが異なるので、好きなメーカーを選べるのが嬉しい心配りです！

埼玉県T市

▶ 家事ヘルパーを派遣

妊娠中から出産後1年未満の人を対象に、家事・育児のヘルパーを派遣。1ヶ月に12日（多胎児は15日）まで利用可能で、掃除や洗濯・食事の準備などのさまざまな家事を代行することで妊娠中の負担を軽減。利用料は1時間あたり900円



千葉県S町

▶ 1時間520円で家事・育児をヘルパーが代行！

S町では妊婦への支援事業として、1時間520円で家事・育児を代行してくれるヘルパー派遣のサポートがあります。妊婦だけではなく小学校就学前の子どもをもつ保護者も対象。連続7日、1時間単位で1日4時間まで利用でき、買い物や料理・掃除・洗濯など、妊婦だと大変な家事を安価で任せることができます。親が遠く離れているなど、頼れる人が身近にいない家族にはうれしい支援ですね。

東京都C区

▶ タクシー券1万円分支給

妊婦さんは出産支援祝品（タクシー利用券）としてタクシー券1万円分がもらえます。通院の負担が軽減しそうですね。また、出産するとお子さん1人につき区内で買い物に使える新生児誕生祝品（区内共通買物券）が3万円分もらえます。